

令和7年度第1回愛媛県出資法人経営評価専門委員会 議事概要

日 時	令和7年10月17日（金）10:00～11:30
場 所	愛媛県水産会館5階会議室
出 席 者	
〔委 員〕	崔委員長、秋葉委員、宮川委員、河内委員（4名）
〔事 務 局〕	総務管理局長、行政経営課長、同課課長補佐ほか

《 開 会 》

○ 総務管理局長あいさつ

○ 議 事

- （1）委員長の選任について
- （2）委員長代行の選任について
- （3）令和7年度の経営評価の進め方等について
- （4）各県出資法人の令和6年度 of 取組状況を踏まえた令和7年度自己点検評価（1次評価）結果等について

委員長に崔委員、委員長代行に秋葉委員を選任

【崔委員長】

今回は、今年度最初の委員会ですので、令和7年度の経営評価の進め方等について、事務局から説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

【崔委員長】

ただいまの説明について、各委員から、何か御意見や確認事項等がありましたらお願いします。

【各委員】

(意見等なし)

【崔委員長】

それでは、事務局の説明どおりに経営評価を進めていくこととします。

次に、各県出資法人の令和6年度の取組状況を踏まえた令和7年度自己点検評価（1次評価）結果等について、事務局から説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

【崔委員長】

ありがとうございました。

事務局からの説明について、各委員からお気付きの点がありましたら、御発言をお願いします。

【宮川委員】

愛媛県国際交流協会について、昨年度と同様、「国際交流センターについては、移転先の目途が立っていないことから、県などからの情報収集に努めている」とありますが、現在、具体的に動きがありますでしょうか。

【国際交流協会】

現時点では、具体的な移転先が決定する段階には至っていませんが、災害時の情報発信等においても、本協会は重要な拠点になると認識しています。

公的な建物に入居ができればありがたいところですが、県民文化会館周辺県有地の再開発等の動向に注視しつつ、引き続き情報収集に努めて参りたいと考えています。

【宮川委員】

愛媛県文化振興財団において、「文化振興事業のeスポーツフェスティバルの開催」とありますが、スポーツ関連の他団体とコラボしたイベントの企画・運営等を検討してはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

【所管課（文化振興課）】

前向きに検討していきたいと思います。

【宮川委員】

愛媛県暴力追放推進センターにおいて、基本財産の入れ替えや、定期預金の預け替えなどで収入がプラスになっているものの、実際は赤字経営になっていますが、法人による評価が「極めて優良」と判断した理由をお聞かせください。

【所管課（組織犯罪対策課）】

経常費用について、県の給与手当増額によりマイナスとなっています。また、2年に1回開催される「暴力追放県民大会」の実施に伴い、切手代などの各種費用が増加し、554万円の赤字となりました。このようなマイナス面を改善するために国債の運用を改めた結果、600万円を超える売却益を出しましたが、こちらに関しては評価損益として計上されております。今後も賛助会員の加入や、経費の削減を進めるなど財源の確保と適正な経費の運用に努めてまいります。

【河内委員】

愛媛県国際交流協会について、当期正味財産増減額が大幅にマイナスとなっていますが、評価損が生じた銘柄や要因はどのようなものでしょうか。

【国際交流協会】

現在、債券を19本保有しており、うち3本「政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券」については黒字評価、残りが評価損となっています。

2013年以前の購入分については表面利率が多少良かったものの、以降はゼロ金利政策等の影響で、あまり利率が高くないため、評価損の形でしか処理ができないという形になっています。

【河内委員】

えひめ農林漁業振興機構において、県の財政的関与の委託料の増減理由に「大幅な内示によるもの」との記載がありますが、どのような内容かお聞かせください。また、人件費の内訳において、人員に変動がないのにも関わらず、職員人件費の給

与手当が減少しているように見受けられますので、理由をお聞かせください。

【所管課（農地・担い手対策室）】

農業経営総合支援事業の委託料の財源について、国の補助金が 10 割となっていてるところですが、令和 6 年度は全国的に要望額が大きかったため、全国平均としても要望額に対し、内示額が約 6 割となっている状況です。

管理費における人件費については、職員の休職や、退職者、市からの職員派遣があり、令和 5 年度と比較すると減少したところです。

【河内委員】

流動資産の用地売却で、売却損が出ていますが、この用地の売却価格はどうのように算定していますか。

【所管課（農地・担い手対策室）】

不動産の鑑定士に鑑定評価をしていただき、評議員会等でこの価格で売却しても構わないかと承認を経た上での手続きをしています。

【河内委員】

時価で売却したところ損になったのでしょうか。

【所管課（農地・担い手対策室）】

そうです。

【河内委員】

今、土地の価格は上がっているイメージがありますが、農地なので下がっているということでしょうか。

【所管課（農地・担い手対策室）】

当該土地を買い入れた経緯は、かなり前であるため不明ですが、当時に比べると、かなり下がっているので、結果的に売却損になったということだと思います。

【河内委員】

愛媛の森林基金において、緑の羽根の配布先や募金の用途はどうなっていますか。
また、キャッシュレス募金の導入について検討されているでしょうか。

【所管課（森林整備課）】

緑の募金については、普及啓発資材である緑の羽根や花の種などを当基金で購入し、家庭募金や街頭募金、各種イベントで募金活動の際に配布しています。

また、次年度に全国植樹祭を開催するにあたり、普及啓発資材を増やしたため、費用が上がっているところです。

キャッシュレス募金については、過去に実施したものの、手数料が高いことや、時期尚早であったため止めてしまった経緯がありますが、全国植樹祭の契機も生かし、内部で検討しているところです。

【崔委員長】

その他全体を通して御意見ございませんか。特にないようでしたら、以上で議事は終了します。

【事務局】

委員の皆様、長時間の御協議大変お疲れ様でした。

以上で、令和7年度第1回愛媛県出資法人経営評価専門委員会を終了します。

《 閉 会 》